

## 若者等活動拠点施設に係る下二之町(1班)との意見交換会 結果報告

日時 平成30年6月19日(火) 19:00～21:00

場所 まちひとぷら座かんかこかん 2階 和室

出席者 下二之町1班住民 16名、高山市 企画課2名、都市政策部3名、文化財課2名

内容

### 1.企画課長あいさつ

### 2.地元代表あいさつ

### 3.高山市職員自己紹介

### 4.資料等の説明

概ねのスケジュール

資料「旧村田邸の整備活用に向けた主な課題」

平成30年度第3回検討会意見

### 5.意見交換 ○:地域の方、→:市職員

○以前は若者に限った施設ではないと説明を受けたが、若者を中心とした活用に絞った、変えたということか

→若者を中心とし、年齢の認識は様々であるなか老若男女が集うことも重要と考えており、変えてはいない

○プロジェクトの成功は、どういう状態を考えているのか(利用者が多いことか、歴史的な建物が守れることか)

→両方である。伝統建築の保存は当然に重要と考えており、伝建の制度上や景観に関する国庫補助金上の制約もある。利用者が単に多いことを狙ってはいないが、利用者のほぼ無い同種の公共施設もあるなか、毎日のように何らかで使われる施設が理想

○検討会に毎回出席しているが、最終的に旧村田邸でやることはどう決まっていくのか

→市から案を提示し、皆さんの意見を聴かせていただき決めることとなる。法令上の制約などもあるなか、全ての皆さんの完全な合意には至らないことも考えられるが、できるだけ多くの方々の賛同を得て進めたい

○フレーム(基本的な部分)を決めてから、そこで出来ることを考えていくのか

→やりたいことは概ね想定して基本的な部分を決めて設計に向かう必要がある。その後可能な範囲で使い方を加えたり、備品など細かな部分で対応したりはあり得る

→建築用語では「用途」と言うが、使い方から改修のフレームを決めていく必要あり

○土蔵を何に使うかは、はっきりしていないのか

→検討会に図面案を提出しており、多用途に使用としているが、決まったものではない

○冬の暖房はどう考えているか

→母屋をほぼ構わないとすると断熱性が低いいため、エアコンで集中管理などは無理である。ブルーヒーターやホットカーペットでの対応も考えられる

○使われない日は、自動火災報知機、機械警備で対応するということか

→他の公共施設と同様、そのように考えている

○管理人は委託するのか

→いったんは市職員を置き、数年間の経費等の実績を見て委託に出すことが、パターンとしては多い

○文化財的価値の評価はどうなっているか

→15年頃に奈良の文化財研究所で調査し、下二之町大新町伝建地区のコアとなる建物と高く評価されている

○貴重な建築物にサッシを付けることはすべきでない、段差や不便があっているのでは。松本家と宮地家と旧村田邸で連携して活用を図っていくべきでは

→世間一般では、公開施設を見学される人は減っている現状。建物を見てもらうというより、そこで行われる活動に着目して施設利用をしてもらうという方向性と認識。サッシを付ける付けないといった伝統建築の保存と活用のための改修は難しい問題だが、冬は寒くて誰も使わない施設となることにも問題があると考え

→住宅の用途のまま、一般利用に供することは法的に問題がある。例えば集会場とした場合、内装制限(不燃のクロス等)延焼の恐れのある範囲はアミ入りガラスサッシを入れるなどの対応が必要となる

○紙床を壊すのは大反対。祭や建物への誇りや愛着がありUターンしたのに、それでは地元の若者が戻らない壁を壊さなければならないなら、使わないように現状維持すれば良い

→壁の裏側に防火を施し、表側に紙を貼る方法は考えられる

既存住宅の改修のため、緩和規定などを上手く使いながら最大限保存できるように設計士と協議している  
長い視点で旧村田邸が残っていくために、必要なことと考えている

○最初から、そういう話をして欲しかった。これだけ使い方が色々出されるなかで、会議に使うなら、紙の壁は駄目だと言われても困る

→使い方を議論するなかで設計士も入り検証し、分かってきたことで、同種の課題は今後も様々に出ると考えられる。外から眺める施設として単に保存すれば別だが、何かしら建物を使おうとした場合、必ず付いてまわる話

○純和風建築が少なくなってきたおり、ユネスコ遺産に登録されるそう。市の職員は勉強して、知恵を絞って現状に近い状態で残して欲しい

→文化財の価値を損なわないようにすることは基本姿勢として持っており、一般論でない緩和規定の適用など調整していきたい

○本座敷は村田家が明治に入られて増築された部分で、十分価値があると考えている

○観光客は、自然と町並、祭を見に来られるので、永久に守ると市も地域も思う必要がある。最低限は守るのではなく、最高に守ることを考えて欲しい。京都市では昭和43年に山鉦を永久に保存するために保存庫を作った

→文化財の価値を守りながら見本になるような改修としたい

○伝建地区の住民が見て、真似て伝統建築が雪崩のように改修(悪)されては困る

→勉強し、どれだけでも保存できるように調整したい。ただ、残すがために何も構わないというのは厳しい

○國島市長は全国伝統的建造物群保存地区協議会の会長になられ、旧村田邸をどのようにしたいのか意見を聞いてきてほしい

→市長の考えを確認する

○検討会には、こういった場の議事録が出てこないため、出すようにして欲しい

→これまではHPに公開してきたが、検討会でも資料提出するようにする。グループ討議では、発表者に言われな  
い意見が議事録に残らないため、今年度第3回では紙に書いて提出してもらった

○紙床を壊すのは違うと感じるため、どこをどう残すのかを示して欲しい。検討会に参加していい意見もあると感じ  
ていたが、建物が残る前提で考えていた

→現状のまま(既存不適格)で建物を残すならば、住宅として住む程度の利用となる

○検討メンバーの一人が、「これだけ話し合いを重ねたのに、まさかA案とB案のどちらが良いですかと出されることは無いですね。多種多様な目的から建築を考えた場合、何千枚にもなる資料を読む覚悟があるから、何通りもの資料全部を示して」と言ってみえた

- ニーズは全て検証させてもらうが、市から何十通りものパターンを示すのは不可能。数ではなく、提案する内容で、様々な意見が盛り込まれて出てきたものだと思ってもらえるようにしたい
- 基本的には練り上げられた1案を示し、ここは直せないか、こうした方が良くなるといった議論をしたい
- 素人集団で決めてもいいのか
- 建築士など専門職も関わり、出来ないものは出来ないと言うこととなる
- 用途がどうなったら、何が無くなるかを示してもらえないか
- 残す所を先に決め、その範囲でどう使うかを後から考えるようなことにできないか。紙床でないなら、何になるのか
- 左官壁又は、防火認定済の紙に似たクロス貼りが考えられる
- 公共の建物で、公民館のように会議したり大勢の人が集まると、内装制限(紙は駄目、不燃材にしろ等)などが出てくるため、それらのことが一般の人にも分かるように示してほしい
- 地域では保存を考え、市では活用を考えているから、ずっと意見がかみ合わない。検討会でも使い方を議論してきたが、結果、保存するにも支障があると分かり、8回もの検討会は何だったのかという意見がでる。大切なのは、市でも、貴重な部分を残すために何か方法がないか努力することである
- 用途、法令の説明を次回の検討会にしてもらいたい
- 市でも最大限保存のあり方も考えさせてもらう
- 地域として紙床は残してほしいと強く要望する。市でも勉強したり話を聞いて、善処してもらいたい
- 「市としては文化財として残す」という発言を検討会で言ってもらいたい
- 予算取りなどもあると思うが、設計のスケジュールはいつか
- 7月中旬位までには使い方をまとめ、8月からは基本設計に向かいたい
- 施設ができることによって、まちの雰囲気が変わることが嫌である。現状の静かなまちは良いと思っている(風情ある町だったが、今は外国人や若者がカジュアルで騒々しく驚いたとの岐阜新聞投書の紹介)
- 別の考えを持っており、下町の活性化のため人を呼びたいと思っている
- 下二之町大新町が伝建地区になる時に担当者として携わったが、上町と異なり、高山のまちなかの人の生活のあるまち、そういう雰囲気を大切にしていくために伝建制度を活用しようとしたもので、今も考えは変わっていない
- 生活していくためにお客さん呼び込むことも必要で上手くコントロールしていき、今の暮らしのあるまちを保存していきたい。全国の伝建地区でもそのような地区は少なくない
- 今日の議事録は、検討会へ資料提出してほしい
- そのようにさせてもらう
- 外観や間取りは変えないことはこれまでの検討会でも基本となっているので、市も努力してもらいたい。紙床は残してもらいたいと強く要望するので、十分に検討してもらいたい
- 地域でも様々な意味で協力していかなければならないことは理解している
- 祭礼行事やお囃子の練習、当番飾りなどの場所として使用させてもらいたいことなど、要望書を市に出させてもらうので、文面を検討会に示してもらいたい
- 映写会、音楽会などを計画される際は、あらかじめ地域に連絡し、反対意見などが出る可能性もあるので、情報提供をお願いしたい
- 祭文化の保存継承のため、できる限り対応を考えたいが、できないこともあると考えている

## 6.企画課長あいさつ

貴重な意見を多数いただき感謝申し上げます、どれだけでも検討していきたいので引き続きご協力をお願いしたい

以上